

# リスクコミュニケーションの評価手法等に関する調査概要

調査委託先:株式会社三菱総合研究所

## 1. 調査の目的

リスクコミュニケーション手法の一つである意見交換会について、消費者等の関心事項に対応した効果的な意見交換会の企画、実施方法について検討するとともに、意見交換会の評価手段として、効果的なアンケート調査を実施するための具体的な方法について、調査・分析

## 2. 意見交換会に関する消費者意識

### (1) 開催目的への期待

- 意見交換会で取り上げて欲しいテーマとしては「残留農薬(80%)」、「食品添加物(71%)」、「食品中に存在する汚染物質、化学物資(66%)」が総じて高く、次いで「食中毒(50%)」、「遺伝子組換え食品(49%)」、「BSE(49%)」、「鳥インフルエンザ(46%)」、「家畜用抗菌性物質(46%)」の順に半数近い選択があった。
- 意見交換会のプログラムとして実施して欲しいものは「専門家による講演(74%)」が他に比して高く、続いて「消費者からの意見(58%)」、「パネルディスカッション(関係者間の意見交換)(45%)」などに半数近い選択を得た

### (2) 開催形態への期待

- 望ましい意見交換会の実施規模については「50人以下(56%)」と過半数を占めて他の比して高く、続いて「51～100人(28%)」、「101～200人(9%)」、「201～300人(3%)」と、小規模なほど支持を集めている。
- 望ましい意見交換会の実施時間については「2時間程度(76%)」と他の引き離して高く、続いて、「4時間程度(17%)」「午前午後を通して6時間程度(1%)」と時間の短いほど支持を集めている。

### 3. 意見交換会の開催目的の設定

基本的な開催目的に照らし、個別の意見交換会にあたっては以下のパターン分類を参考に具体的な目的、目標を設定する

目的設定のパターン分類(何をテーマとし、誰に、何を伝え何を達成するか)

テーマとするリスク評価等、施策 (開催主旨)	意見交換会の対象者	伝えるもの・達成するもの → (開催目的)
<ul style="list-style-type: none"><li>▶社会的な関心や不安の高いもの (社会的な関心や不安に答える)</li><li>▶実態としてリスクが懸念されるもの (実態としてリスクを周知する)</li><li>▶関係者間の利害関係が大きいもの (関係者の利害関係が大きいものについて理解を得る)</li><li>▶リスクの実態について不確実性や誤解の大きいもの (リスクの実態について不確実性や誤解の大きいものについて理解を得る)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・消費者</li><li>・生産者</li><li>・食品関連事業者</li><li>・食品衛生関係者</li><li>・保健医療関係者</li><li>・メディア</li><li>・食品安全行政関係者</li><li>・食品関連研究・教育機関</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▶国民各層の意見を聴く</li><li>▶情報を提供し、理解や適切な安全確保の行動を促進する</li><li>▶意見を述べる機会を提供する</li><li>▶関係者間相互の情報及び意見の交換を促進する</li></ul>

## 4. 個別の意見交換会の目的に応じた目標設定

- 個別の意見交換会の開催目的を具体化するために目標を設定
- 目標は個別の開催目的の達成度を調べる指標であり、委員会が現状抱える課題に配慮して設定する

伝えるもの・達成するもの (開催目的)	目 標	具体的に設定するもの
国民各層の意見を聴く	意見交換会の対象からバランスよく参加者を募る	意見交換会の対象者
	特に消費者の積極的な参加を得る	—
	意見交換会の対象者が参加しやすい日時と場所を設定する	—
	広く参加を募るために、対象者の関心等に対応する	—
	広く参加を募るために、効果的な周知を行なう	—
情報を提供し、理解や適切な安全確保の行動を促進する	意見交換会の対象者の懸念等に適切に応える	—
	意見交換会の対象者の安全意識を改善する	期待する安全意識の改善
	意見交換会の対象者の理解を促進する	期待する理解の促進
	一般の消費者にとってわかりやすい情報の提供を行う	—
	意見交換会の対象者の安全確保の行動を促進する	期待する安全確保の行動
意見を述べる機会を提供する	意見交換会の参加者から多数の意見を募る	—
関係者間相互の情報及び意見の交換を促進する	意見交換会の参加者相互の積極的な意見交換を実現する	—
	意見交換会の参加者の望む情報及び意見交換を実現する	—

## 5. 意見交換会評価用アンケート票の作成

### (1) アンケート項目設定時の配慮

以下の項目が含まれる必要がある。

#### a. 留意事項

年代、性別、居住地、意見交換会に参加する前の状態、意見交換会に参加した後の状態、参加後の変化・変容の要因

#### b. 目標の指標

意見交換会の目標の達成を調べる項目

#### c. 既存票の継続

既存のアンケートより継続する項目

#### d. 理解度と満足度

意見交換会を実施したことによる理解度満足度を調べる項目

アンケート項目の候補	a	b	c	d
性別	●			
年代	●			
居住地	●			
職業		●		
意見交換会を知った経緯			●	
過去の意見交換会への参加回数			●	
参加目的			●	●
参加目的の満足度				●
テーマに関する理解の促進	●			●
テーマに関するわかりやすさ		●		
参加者の関心、懸念、疑問への対応		●		
安全意識の改善	●	●	●	
安全確保の行動の促進	●	●		
参加者の望む意見交換の実現		●		●
意見交換会のプレゼンテーション	●			
意見交換会の取組の周知度			●	
意見交換会で取り上げて欲しいテーマ			●	

## 6. 意見交換会の評価

アンケートの結果を用いて、事前に設定した目標の達成度を評価する。具体的には下記の点に留意し、「意見交換会評価の設計検討、評価実施用シート」の達成度評価の欄において、「評価項目」と「関連アンケート項目と評価の視点」を参考に評価を行い、結果をまとめる。

### ○開催テーマ等の設定

開催テーマ、テーマの特徴、プログラムの内容等

### ○目標の設定

各目標の優先度と具体的な設定事項

### ○達成度の評価

アンケートで得られた結果を用いた評価の実施



本日の意見交換会の内容について伺います。  
以下の設問について、あてはまるもの1つを選んで番号を○で囲んでください。

**Q6** 本日の意見交換会に参加された目的はどのようなものですか？  
(複数該当する方は、主なものを1つ選んでご回答ください。)

- ① 他では得られない詳しい情報を得たい
- ② 専門的な内容について、わかりやすい説明を聞きたい
- ③ どのような施策がとられるのか知りたい
- ④ 疑問のある点について質問したい
- ⑤ 自分の考える意見を述べたい
- ⑥ 他の人と意見交換をしたい
- ⑦ 様々な考え方のあるものについて、明確な結論を聞きたい
- ⑧ 業務の一環として参加する必要がある
- ⑨ 国が行なうリスクコミュニケーションの取組を知りたい
- ⑩ その他 [具体的に

]

**Q7** 上の質問 (Q6) でお答えいただいた目的に対して、本日の意見交換会はどの程度満足できるものでしたか？

- ① 充分満足した
- ② ほぼ満足した
- ③ あまり満足できなかった
- ④ まったく満足できなかった
- ⑤ どちらでもない



**Q8** “あまり満足できなかった” “まったく満足できなかった” “どちらでもない” と答えた方に伺います。  
本日の意見交換会で満足できなかったとお考えになる点をお聞かせください。

満足できなかった点

( 具体的に

**Q9** 本日の意見交換会では、有益な情報が得られましたでしょうか？  
有益だと思われたものがありましたら、○で囲んでください。（複数選択可）

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| ① [###の安全性]の実態について              |   |
| ② [###の安全性]の健康影響の程度や評価結果について    |   |
| ③ [###の安全性]について設定されている規制の基準について |   |
| ④ [###の安全性]を監視、検査する方法について       |   |
| ⑤ [###の安全性]に関する規制の動向について        |   |
| ⑥ その他 [具体的に                     | ] |
| ⑦ 有益な情報は得られなかった                 |   |
| [その理由を具体的に                      | ] |

**Q10** 本日の意見交換会に参加されて、[###の安全性]についてはどのようにお考えになりましたか？あてはまるものがありましたら、○で囲んでください。（複数選択可）

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| ① [###の安全性に対する過剰な懸念の改善]         |   |
| ② [###の安全性に対する希薄な安全意識の改善]       |   |
| ③ [###の安全性に関する情報収集行動の改善]        |   |
| ④ [###の安全性に関する消費行動の改善]を         |   |
| ⑤ [###の安全性に関する意識・行動の改善のその他の選択肢] |   |
| ⑥ その他 [具体的に                     | ] |

**Q11** 本日の意見交換の進め方について伺います。会の全体の印象を通じて感じた印象についてお聞かせください。

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| a. 説明の詳しさ             | ① 詳しすぎる      ② ちょうど良い      ③ 簡単すぎる      ④ どちらでもない                     |
| b. 説明資料の<br>わかりやすさ    | ① わかりやすい      ② わかりにくい      ③ どちらでもない                                 |
| c. 説明者の<br>話し方        | ① 早すぎる      ② ちょうど良い      ③ 遅すぎる      ④ どちらでもない                       |
| d. 説明者の<br>話のポイント     | ① 話しのポイントは明瞭だった<br>② 話しのポイントは不明瞭だった      ③ どちらでもない                    |
| e. 専門用語の<br>使い方       | ① 専門用語が多く難しかった      ② ちょうど良い<br>③ 言葉遣いが易しすぎてかえってわかりにくい      ④ どちらでもない |
| f. その他、進め方で<br>お気づきの点 | [具体的に   |

**Q12** 以下の食品安全委員会の取り組みのうち、ご存知のもの、あるいは利用したことのあるものがあれば、すべて選んで○で囲んでください。（複数選択可）

- |                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| ① 委員会、専門調査会が一般の人にも傍聴が可能なこと |                 |
| ② 食品安全委員会のホームページ           | ③ 食の安全ダイヤル      |
| ④ 食品安全委員のメールマガジン(e-マガジン)   | ⑤ 食品安全モニター制度    |
| ④ 季刊誌「食品安全」                | ⑤ 食品の安全性に関する用語集 |
| ⑥ 食品の安全性に関する政府広報           |                 |
| ⑦ その他 [具体的に                | ]               |

**Q13** 食品の安全性を確保していく観点から意見交換会などのリスクコミュニケーションで取り上げて欲しいテーマについてお聞かせください。（複数選択可）

- |                |                         |                     |
|----------------|-------------------------|---------------------|
| ① 食品添加物        | ② 残留農薬                  | ③ 食品中に存在する汚染物質・化学物質 |
| ④ 遺伝子組換え食品     | ⑤ 動物用抗菌性物質(いわゆる抗生物質)    |                     |
| ⑥ BSE(牛海綿状脳症)  | ⑦ 食中毒(微生物、ウィルス、かび毒、自然毒) |                     |
| ⑧ 鳥インフルエンザ     | ⑨ 新開発食品                 | ⑩ いわゆる健康食品          |
| ⑪ リスクコミュニケーション | ⑫ リスク分析の考え方             | ⑬ 食育                |
| ⑭ その他 [具体的に    |                         | ]                   |

**Q14** 最後に、全体を通してのご意見、ご要望、ご感想がありましたらお聞かせください。

アンケートにご協力いただき、有難うございました。

いただきましたご意見に基づき、より良い意見交換会の開催に努めてまいります。

[意見交換会評価の設計検討、評価実施用シート]

開催テーマ:

テーマの特徴:

(参考)社会的に関心や不安の高いもの、実態としてリスクが懸念されるもの、関係者間の利害関係が大きいもの、リスクの実態について不確実性や誤解の大きいもの

プログラム: [講演1] (講演者)

(テーマ)

[講演2] (講演者)

(テーマ)

[講演3] (講演者)

(テーマ)

「意見交換」(テーマ)

開催目的	目標			達成度の評価		
	優先度 (◎,○,-)	目標の内容	具体的な設定事項	評価項目	関連アンケート項目と 評価の視点	評価結果
国民各層の意見を聴く		意見交換会の対象からバランスよく参加者を募る	[意見交換会の対象者]	対象とした参加者が得られたか	Q1:性別、Q2:年齢、Q3:職業 対象参加者の参加人数	
		特に消費者の積極的な参加を得る		(同上)	Q3:職業 消費者の参加人数	
		意見交換会の対象者が参加しやすい日時と場所を設定する		十分な参加者が得られたか	— 意見交換会の参加人数	
		広く参加を募るために、対象者の関心、懸念、疑問や社会的な重要性に対応したテーマを設定する	[設定するテーマ]	参加者の期待するテーマとの乖離はなかったか	Q6,7:参加目的と満足度 参加者の関心、懸念等に対する参加の満足度	
		広く参加を募るために、効果的な周知を行う	[重点を置く周知方法]	想定どおりの周知が行なえたか	Q4:周知の経路 重点を置く方法により開催を知った人の割合	
情報を提供し、理解や適切な安全確保の行動を促進する		意見交換会の対象者の関心、懸念、疑問に適切に応える情報を提供する		参加者の期待する情報との乖離はなかったか	Q6,7:参加目的と満足度 情報取得を望む参加者の満足度	
		意見交換会の対象者の安全意識を改善する	[重点を置く安全意識の改善]	安全意識の具体的な目標は改善されたか	Q10:安全意識と行動の改善 具体的に設定した安全意識改善目標について“改善した”とする回答者の割合	
		意見交換会の対象者の理解を促進する	[重点を置く理解の促進]	理解の具体的な目標は改善されたか	Q9:得られた有益な情報 具体的に設定した理解促進目標について“情報が得られた”とする回答者の割合	
		一般の消費者にとってわかりやすい情報の提供を行う		情報提供はわかりやすかったか	Q11:説明のわかりやすさ 説明について“わかりやすい”とする回答者の割合	
		意見交換会の対象者の安全確保の行動を促進する	[重点を置く安全確保行動の促進]	安全確保行動の具体的な目標は促進されたか	Q10:安全意識と行動の改善 具体的に設定した安全行動改善目標について“改善した”とする回答者の割合	
意見を述べる機会を提供する		意見交換会の参加者から多数の意見を募る		多数の質問が参加者からなされたか	— 会場からの質問数と内容	
関係者間相互の情報及び意見の交換を促進する		意見交換会の参加者相互の積極的な情報及び意見交換を実現する		多数の意見交換が参加者間でなされたか	— 会場でなされた意見交換の件数と内容	
		意見交換会の参加者の望む情報及び意見交換を実現する		参加者の望む意見交換が行なわれたか	Q6,7:参加目的と満足度 意見交換を望む参加者の満足度	